

ジャックと豆の木

大分大学教育学部附属幼稚園（文責／園長 石川照代）



よいお年をお迎えください

サンタさんがやってきたよ!

なんと! まだ12月6日だというのに、附属幼稚園にサンタさんがやってきました。どうやら、とってもあわてんぼうのサンタさんのようです。ホールに集まり、武生先生、江隈先生、松永先生からの素敵なクリスマス会の出し物を見せていただき、雰囲気盛り上がってきた時、どこからともなく鈴の音が……。

突然、「メリー・クリスマス!」と叫びながら、サンタさんがホールに入ってきました。クラスカラーのリボンを結んだ大きな大きな白い袋を引きずってきたサンタさんに、子どもたちは大喜び! サンタさんから袋を受け取る時の子どもたちの目の輝きと言ったらありません! お礼に歌を歌いました。「ワンダー!」「グレート!」「ファンタスティック!」と、サンタさんはにこにこ笑顔で、とっても喜んでくれました。

もっといって欲しかったのですが、プレゼント配りに忙しいようで、サンタさんはあわてて次の幼稚園に向かいました。



三ヶ月後をイメージして過ごす冬休みだ!

一年前の今頃を思い出しみてみてください。決して「親の欲目」ではなく、子どもたちは本当に成長したでしょうか? これは、子どもたち自身の力が発揮されたと同時に、お家の方々の細やかな子育ての気配りがあったからです。素晴らしいです。

進級、進学まであと三ヶ月あまり。「節目」は子ども伸ばす良い契機になります。

冬休みは、子どもの「伸びたい」気持ちを手引きし出し、進級や進学を楽しみに、ちよっぴり頑張る姿が見られるといいですね!



年を取ったからでしょうか? 「縁」という言葉が耳につくようになりました。「縁がある」「縁談」「袖

すり合うも多生の縁」などという言葉は勿論使っていましたし、仏教に由来する言葉であることも知識として知っていました。しかし、人との「縁」を有り難く、感謝する心持ちにまでは、正直至ったことがなかったように思います。しかし、自分が附属幼稚園に来て、子どもたちや園の職員、保護者の方々と出会い、未知なる「幼児教育」の世界に飛び込むことになろうとは……。ここでの出会いはまさに「縁」。今では、この「縁」が、間違いなく自分を高め豊かにしてくれていることを実感しています。

今年もあとわずか……。私は、この「縁」を頂いた今年に心から感謝し、来年の新たな「縁」を楽しみにしたいと思います。今年一年、附属幼稚園へのご支援・ご協力を誠に有り難うございました。

来年も、どうぞ宜しくお願い申し上げます。



アご改。宜者うのす、保護園ま程保りのきの「有らい力する出かて協関係提れしごしにここか・た価の! 生援い評」たに支い校トし善ご願学一ま改もおケい・後くンぎ革今し